

長野県支部は、37番目の支部として令和5年9月12日に設立されました。

弊法人は、小諸市と佐久市で医療・介護・保育・教育・海外介護人材の育成と監理団体・日帰り温泉事業を展開する「のぞみグループ」7法人の中の1法人です。JICAとJETROの採択を受け、東南アジアの介護士の育成と、自立支援介護の確立に取り組んでおります。

自転車で訪問に回れる東京と、車で30分もかけて雪道を訪問する地方が同じで成り立つはずがない。地方の海外介護人材は力がついてくると首都圏へ転職します。長野県支部が設立されたことで、私達は首都圏と地方の環境の違いを受け入れながら、長野県の介護の在り方や未来に繋がる道を見つけだし、全国介護事業者連盟を通して、長野県の声为国に届けられるようになります。

今まで声を上げられなかった介護事業所の現場の声を集め、長野県の介護の未来を切り開いてまいります。また万一の災害時には、長野県支部会員が一丸となって、介護事業所の災害支援に尽力する覚悟でございます。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

甘利 庸子（あまり ようこ）

社会福祉法人のぞみ福祉会 理事長

株式会社エスポワール 代表取締役社長

株式会社シルバーケアのぞみ 代表取締役社長

株式会社のぞみ 代表取締役社長

一般社団法人 海外介護士育成協議会 代表

介護施設協同組合 代表理事

株式会社まちづくり小諸 副社長

◆「全国介護事業者連盟 鳥取県支部 設立総会」を開催いたします（2024年6月1日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2024/tottori0601/>

◆「全国介護事業者連盟 東京都支部 年次総会および障害福祉事業部会 東京都支部 設立総会」を開催いたします（2024年6月13日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2024/tokyo0613/>

◆「全国介護事業者連盟 山口県支部 設立総会」を開催いたします（2024年6月22日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2024/yamaguchi0622/>

◆「全国介護事業者連盟 神奈川県支部 年次総会・懇親会」を開催いたします（2024年6月28日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2024/kanagawa0628/>

◆「全国介護事業者連盟 新潟県支部および障害福祉事業部会 新潟県支部 合同設立総会」を開催いたします（2024年7月27日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2024/niigata0727/>

◆法律・監査対応およびBCP訓練・研修に関するWEBセミナーのご案内

主催：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

- ①5/14 (火) BCP と法的責任
- ②6/6 (木) 行政立入り監査対応のポイント
- ③6/19 (水) BCP 机上訓練【自然災害編】
- ④7/17 (水) BCP 机上訓練【感染症編】

お申し込みは、下記 URL よりお願いいたします

<https://dl.nx1k.jp/081d7203-80c2-4d96-8e79-788bd08908cc>

◆令和6年度介護報酬改定 地域密着型サービスの見直しポイント～無料オンラインセミナー～

主催：株式会社EMシステムズ

日時：5月30日(木) 12:00～6月2日(日) 18:00

講師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行

お申し込みはこちらからお願いいたします

<https://share.hsforms.com/1v69uRzsBTnu0z7q9QGynSgqbkkv>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

9分で分かる！地域密着型サービス各ポイント解説

https://www.youtube.com/watch?v=-ftc2Mb_Whw&t=495s

7分で分かる！2024年改定 福祉用具貸与・販売 ポイント解説

<https://www.youtube.com/watch?v=p6uKJ1yCYCk>

財政制度等審議会 令和9年度介護報酬 マイナス改定に向けた財務省からの意見提言

<https://www.youtube.com/watch?v=JU9oKbGb7bM>

【全国介護事業者連盟動向】

- 4月30日 障害福祉事業部会熊本県支部 幹事会の開催(熊本県 オンライン)
- 5月1日 障害福祉事業部会長野県支部 幹事会の開催(オンライン)
- 5月9日 第44回常任理事会の開催(東京都 オンライン)
- 5月9日 厚生労働省『第2回ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会』におけるヒアリングに、理事長と居宅介護支援・福祉用具貸与在り方委員会 田中紘太 副委員長が出席(オンライン)
- 5月9日 山梨県支部 幹事会の開催(山梨県)
- 5月9日 高知県支部 幹事会の開催(オンライン)
- 5月11日 大分県支部 設立総会の開催

■ [厚生労働省ニュース/内閣府ニュース](#)

介護職員の処遇改善

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=k3Wq0BwF7jN7sREBY>

介護給付費等実態統計月報(令和6年1月審査分)

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=l3GgNoiI9doLT8gFY>

介護人材の定着促進がもたらす様々な効果分析等に関する調査研究

https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/pdf/2404_mhlwkrouken_report_add5.pdf

「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ninchisho_kankeisha/dai2/siryou9.pdf



介護・障害福祉ニュース

認知症の高齢者、2040年に584万人へ 厚労省が最新推計を公表

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26763/>

10年後を担う中核人材が「いない」介護事業所の4分の1が回答 国調査

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26691/>

【先見】早くも始まった“次の攻防” 財務省が迫る介護改革、何が実行されるのか

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26600/>

【介護報酬改定】訪問、通所、ケアマネにも身体拘束の禁止規定 新年度から記録も義務化

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26336/>

介護保険改革の行方はもう見えている？ 的確な未来予測を持って備えるために

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26290/>

保険者の運営指導が急増 介護事業者は細心の注意を

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26711/>

岐路に立つ介護支援専門員 業務範囲の明確化で「愛されぬ専門職」になる懸念も

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26568/>

居宅介護支援、指定を受けて予防プランを担う事業所の消費税の扱いは？ 厚労省通知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26532/>

【介護報酬改定】厚労省、Q&Aの第5弾を公表 福祉用具の選択制のルールを詳しく解説

<https://www.joint-kaigo.com/articles/26455/>



賛助会員広告【さつき株式会社】



さつき株式会社は快適で使いやすい温水洗浄便座 前広便座「ZAFREE」を提供いたします。

3/15 発売の新モデル「ZAFREE CARE SHOWER」では、従来のZA FREEに温水ハンドシャワーを搭載しました。これにより、前広便座の利便性に加えオストメイトの方のパウチ洗浄や手軽に陰部洗浄を行っていただいたり尿瓶などの汚れた排泄機器の洗浄、便器内の清掃などにも活用いただけます。ご家庭の狭いトイレや施設

内の多目的トイレ以外にも手軽に取り付けることができ好評いただける製品となっております。

<製品 HP>

<https://pri-zafree.com/>

<プレスリリース>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000114211.html>

<新モデル CARE SHOWER 紹介動画>

<https://youtu.be/yOiSBmN7wzM>

さつき株式会社 大阪支店

Mail: info-bnz@satsuki.co.jp

542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4 丁目 10-29

TEL:06-6252-4751

FAX:06-6251-4147



編集後記

「私は介護・医療の専門家」この衣を脱ぎ捨ててこそ見えてくるもの

先日、ある地域ケア会議でこんなやり取りがありました。

認知機能低下がみられるある高齢者に「どのようなケアが効果的か」を話し合う中で、言語聴覚士は「口腔機能の維持改善が重要」と述べました。薬剤師は「多剤投与が原因。減薬が効果的」と主張します。理学療法士は「歩行能力の改善で、外出機会を増やすべき」との見解を口にしました。

それを黙って聞いていた社会福祉法人の理事が最後にこう言いました。「この方がどのような生活を望んでいるかという観点が抜けていませんか？皆さんは自分の専門家としての知識や経験を元にマウントを取りたいだけではないのですか？」

介護・医療職は社会に対して、「専門家」の立場でアプローチしてしまいがちです。

しかし、そこには今すぐ介護・医療の専門的な知識を必要とする課題がないケースもあるでしょう。

「専門家」という衣を脱ぎ捨てて接してみると、本当に必要なものが見えてくるかもしれません。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4 階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp